

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話： 03-3541-5151

担当者の所属・氏名： 放射線科医員、加茂 実武

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科医師、加茂 実武

肝膿瘍の方を対象とした治療開始前のCT画像に関する研究

1. 研究の対象

当院で2009年1月から2018年6月の間に肝膿瘍に対し、CT検査を施行し、かつ経皮的ドレナージ治療を受けられた方

2. 研究の目的・方法

肝膿瘍の主な原因は、何らかの理由を契機に肝内で細菌が異常増殖することによるものと知られています。しかし稀に通常の細菌ではなく、アメーバが増殖することで膿瘍が形成されてしまうことがあります。この”細菌性肝膿瘍”と”アメーバ性肝膿瘍”では行われる治療法が異なりますが、治療開始前に両者を見分けることはときに難しいことが知られています。本検査では”細菌性肝膿瘍”と”アメーバ性肝膿瘍”のCT画像の所見について検討を行い、両者の特徴や相違点を考察・検討します。

なお、この調査では通常の保険診療以外に医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容および撮影したCT画像の評価についての調査・検討のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります

《情報》 カルテ番号、年齢性別、生年月日、既往歴・生活歴、血液生化学検査

《CT画像》 治療開始前のCT検査画像